



## 運動会を開催しました！ 御声援、ありがとうございました。

10月21日(土)、校内運動会を開催しました。コロナ禍が明けた今年は、応援に来て下さる保護者や御家族に人数制限を設けず、盛大に開催できることを期待していました。ところが、インフルエンザの感染が急激に広がり、開催が危ぶまれる状況でした。実際、運動会に参加できない状況にあった子供たちも多かったため、延期についても協議を重ねましたが、「断腸の思いで」予定通りの開催という「苦渋の決断」をしました。これまで何度も耳にしたことがあるこれらの表現のもつ意味が身に染みる今年の運動会でした。

運動会そのものは、「一人一人が協力し合う運動会」のスローガン通り、協力し合って頑張る子供たちの姿がたくさん見られました。競技だけでなく、当日の運営に関わる係活動についても6年生が中心となり、見事に子供たちの手で運動会をつくり上げました。



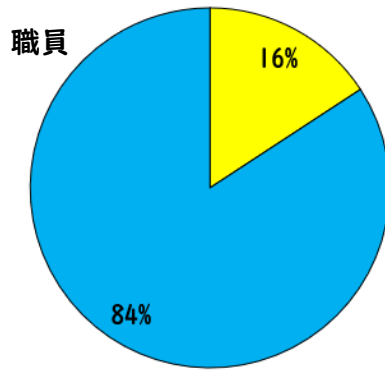
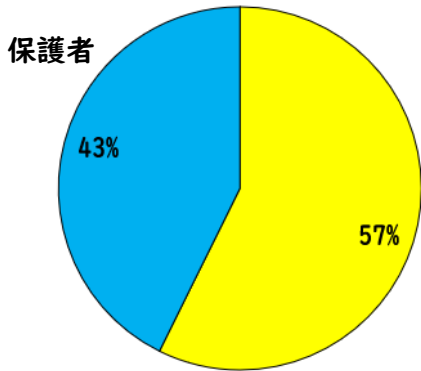
代休日翌日(24日)の登校時、「先生！運動会、出なかったよお。」と声を掛けてくれた出席停止明けの6年生がいました。「ごめんよお、わかったねえ。」それ以外、掛ける言葉が見つかりませんでした。同じく出席停止だった1年生は、布団の中で学校から聞こえてくる運動会の音楽や声援を聞いていたそうです。

我々大人以上に子供たちは、残念無念であったと思います。参加できなかった子供たちだけでなく、参加した子供たちの中にもいっしょに練習してきた仲間と当日一緒に頑張りがたかったという思いの子供たちがたくさんいました。特に6年生はそんな思いが強かったことでしょう。

令和5年度の残りの日々、子供たちといっしょに一日一日を大切に過ごし、できる限りの穴埋めができるよう楽しい思い出を増やしていきたいと考えています。

## 通学用の黄色い帽子に関するアンケートへの御協力を ありがとうございました！

### 現在のきまりをどうするべきか



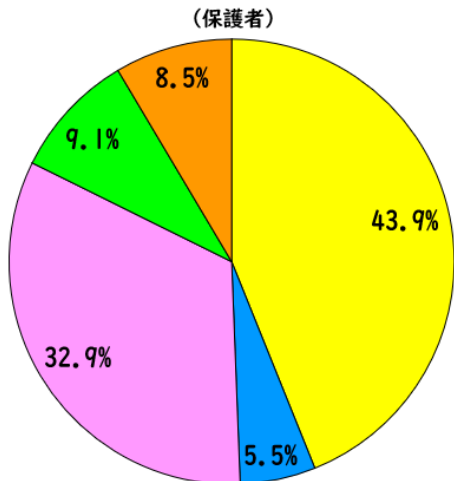
- きまりは変更しない。家庭と学校とで、指導していくべきである。
- きまりを変更した方がよい。

保護者と職員で、意見が分かれました。

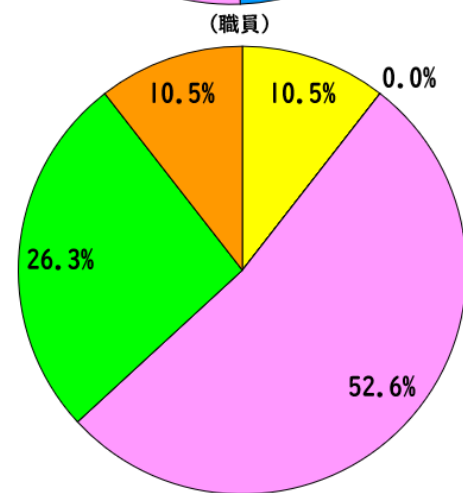
現状、帽子を着用して登下校できている子供たちが全体の4分の3です。したがって、多くの保護者が今のきまりのままでよいのではないかと感じているようです。

一方、帽子をかぶっていない子供たちの指導に追われる職員は、今のきまりのままでは状況は改善されないと考えているようです。

### きまりを変更する場合、どのようなきまりにするべきか



- 登下校時は、黄色い帽子を着用 (現在のきまりのまま)
- 登下校時は、ヘルメットを着用
- 自分の好きな帽子かヘルメット着用
- 3年生までは黄色い帽子、4年生以上は黄色い帽子以外の帽子も可 (ヘルメットも認める)
- 帽子 (ヘルメット) を着用する、しないは各家庭の判断



#### <保護者からの意見・感想(抜粋)>

- ・高学年になりサイズアウトしたり劣化したりして買い直すのがもったいない。低学年から劣化せず使える間は黄色い帽子を使わせたいが、家で使用しているものや黄色いもの、自由になった方がありがたい。
- ・自分の意思で自由な帽子を被るべきだ。自由なので続けて黄色い帽子をかぶるのもよし、ヘルメットをかぶるのもよし、子供たちの個性や自由を尊重するべきだ。
- ・熱中症や安全面を考えて、頭は守る必要があると思う。高学年になると「ダサイ」という感じになる。入学の時からサイズも変わるので、サイズ調整できず、買い直す必要がある。
- ・男女で帽子の形が違って、選べないことが今の時代(ジェンダーレス)に合っていない。女子用の形が嫌なようで、自分の好きな帽子をかぶりたいと言っている。
- ・親としては黄色の帽子の方が、運転手から認識してもらいやすいと思うが、現在の帽子の形ではポニーテールを通すところがなく、帽子が前のめりになり視界が悪くなるということもあるそうだ。
- ・地域住人として考えると、決まった黄色帽子は小学生とわかりやすく、運転していても目に入りやすく目立つため運転する立場からも気をつけるので安全なのではないか。黄色帽子をかぶっていれば登下校中と判断もつきやすい。
- ・『登下校時に帽子をかぶる』という決まりも守れない子は、この先それでどういう人間になるのか、理由のヒヤリングも含め、カウンセリングなどを受けた方が良い。
- ・災害時はヘルメットが一番安全。しかし、夏の暑い時期に今の黄色い帽子やヘルメットは通気性が悪いので蒸れて暑く大変だと思う。臨機応変に対応できるようなきまりがいい。

子供の安全面、快適性、子供の思いや個性、指導の負担など、何を重視するかで当然意見は異なります。保護者と職員とでもこれだけ意見が違ふことが興味深かったです。参考となる様々な御意見をいただきました。

今後、代表の子供たちと職員とで話し合い、学校としてきまりを決めていきます。